

## 社内コミュニケーションの活性化を目指し、 従業員運動会を開催

障がい者スポーツの体験プログラムとして“**ブラインドサッカー**”を参加者全員が体験

田中貴金属グループの純粋持株会社であるTANAKAホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：田苗 明）は、2018年9月29日（土）に、BumB 東京スポーツ文化館（東京都江東区）にて従業員を対象とした社内運動会「健康促進大会 2018」を開催しました。

「健康促進大会」は、①コミュニケーション活動の基盤となる従業員の健康促進をする ②運動会の開催を通じて一層のコミュニケーション活動の促進をする ③企画運営及び実施を通じて従業員の連帯感を高めることを目的に行っている社内運動会で、当日は本社部門等の中から従業員 343 名が参加し、赤・青・黄の3つのチーム対抗形式で開催しました。

### ◇社員の企画による12競技を実施。従業員考案のオリジナルプログラムも

「健康促進大会」は社内での募集に応募した実行委員が12の競技プログラムを企画・構成しました。大玉送り、玉入れ、大縄跳び、綱引き、リレーといった定番競技に加え、今年は、<sup>じがね</sup>地金バーを模したバトンを落とさないように積み上げながら走る純金積立リレー（障害物リレー）や、騎馬戦と流鏝馬を組み合わせた流鏝馬リレーなどのオリジナルプログラムも実施。競技そのものを怪我なく楽しむことは勿論、健康促進大会実施の目的の一つである「社内コミュニケーションの活性化」について意識し、役職、職域、部署を超えた積極的なコミュニケーションを図ることを目的に実施しました。

### ◇参加者全員で障がい者スポーツ「ブラインドサッカー」を体験

田中貴金属グループは、2012年から公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会（JPSA）のオフィシャルパートナーとなり、2017年からは日本ブラインドサッカー協会（JBFA）とブラインドサッカー女子日本代表への協賛も開始するなど、障がい者スポーツとパラアスリートを応援しています。

この健康促進大会においても、2016年から障がい者スポーツへの理解を深めるために参加者全員による体験プログラムを実施。今年は日本ブラインドサッカー協会のご協力・ご指導の下、ブラインドサッカー女子日本代表の齊藤舞香選手にもお越しいただき、「ブラインドサッカー」の体験プログラムに挑戦しました。

まず初めに、齊藤選手によるデモンストレーションが実施され、競技やブラインドサッカー選手の技術への理解を深めました。次に、参加者全員がアイマスクをした状態で、日本ブラインドサッカー協会のスタッフの説明を受けながら、声やボールなどの音を頼りに、チーム分けやボールのリレーを行うプログラムに挑戦。その後、各チームの選抜メンバーが齊藤選手と3対1のブラインドサッカー対戦をしました。対戦に参加した従業員からは「（アイマスクをしていると）自分がどこにいるかすら分からない！」、「（齊藤選手のゴールの）ボールが速くてびっくりした」などの感想がでるなど、会場は大きな盛り上がりを見せました。初めてブラインドサッカーに触れる従業員もいる中、この体験プログラムを通じて競技への理解を深めると同時に、「音」と「声」のコミュニケーションが重要とされているブラインドサッカーをきっかけにして、コミュニケーションの大変さや相手の立場に立って伝えることの大切さを学ぶ良い機会となりました。

齊藤選手からは、「今日アイマスクを実際に着けて、プログラムを体験された皆さんだと、ブライ

ンドサッカーをより深く楽しんでいただけたらと思う。ぜひ生のブラインドサッカーの試合を見に来てほしい」とのコメントをいただきました。

田中貴金属グループでは今後も、ブラインドサッカー等の体験を通じて、障がい者スポーツを身近なものとして従業員に感じてもらうための興味醸成や理解促進につながる活動を進めていきます。

### <「健康促進大会 2018」実施概要>

【日 時】 2018年9月29日（土）10:00～17:00

【場 所】 BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ（東京都江東区夢の島 2-1-3）

【参加人数】 343名

### —「健康促進大会 2018」の様子—



「大玉送り」



「綱引き」



「サッカー女子日本代表の齊藤舞香選手」



「ブラインドサッカー体験プログラム・キックターゲットリレー」



「齊藤選手とのブラインドサッカー対戦①」



「齊藤選手とのブラインドサッカー対戦②」



「選抜リレー」



「参加者全員での集合写真」

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング 22 階

代表：代表取締役社長執行役員 田苗 明

創業：1885 年 設立：1918 年※ 資本金：5 億円

グループ連結従業員数：5,034 名（2017 年度）

グループ連結売上高：9,766 億 1300 万円（2017 年度）

グループの主な事業内容：田中貴金属グループの中心となる持ち株会社として、グループの戦略的かつ効率的な運営とグループ各社への経営指導

HP アドレス：<https://www.tanaka.co.jp>（グループ）、<https://pro.tanaka.co.jp>（産業製品）

※2010 年 4 月 1 日にTANAKAホールディングス株式会社を持株会社とする体制へと移行いたしました。

■田中貴金属グループについて

田中貴金属グループは 1885 年（明治 18 年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇り、長年に渡って、産業用貴金属製品の製造・販売ならびに、宝飾品や資産としての貴金属商品を提供。貴金属に携わる専門家集団として、国内外のグループ各社が製造、販売そして技術が一体となって連携・協力し、製品とサービスを提供しております。また、さらにグローバル化を推進するため、2016 年に Metalor Technologies International SA をグループ企業として迎え入れました。

今後も貴金属のプロとして事業を通じ、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 5 社は以下の通りです。

- ・TANAKAホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・田中貴金属工業株式会社
- ・田中電子工業株式会社
- ・日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・田中貴金属ジュエリー株式会社